

授業科目 英語III

【担当教員名】 戸出 朋子	対象学年	2	対象学科	理学・作業・言語・義肢・健栄・スポ・社会・看護・情報
	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	1	時間数	30

【概要・一般目標：G10】
QOLをテーマに実際に英語を使う経験を通し、現段階の英語の力を伸張させる。特に、基本的な語彙・文法を確実にする。

【学習目標・行動目標：SBO】
 1. QOL関連の内容が書かれた文章の概要を、辞書を参照しながら、自分の言葉で概要を述べるができる。
 2. QOL関連の内容について、まとまりのある英語を聞き、重要なポイントのメモをとることができる。
 3. QOL関連の内容について、口頭で、簡単な英語を使って他者に内容を伝えることができる。
 4. QOL関連の事柄を、辞書参照やその他のストラテジーを駆使しながら、英語の基本語順で書くことができる。

回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	オリエンテーション 英文の構造	1	講義、演習
2	介護におけるコミュニケーションで大切なことを説明する（準備）	1、2	講義、演習
3	介護におけるコミュニケーションで大切なことを説明する（読解）	1	講義、演習
4	介護におけるコミュニケーションで大切なことを説明する（原稿作成）	3、4	講義、演習
5	介護におけるコミュニケーションで大切なことを説明する（改訂）	5	講義、演習
6	介護におけるコミュニケーションで大切なことを説明する（面接）	3	講義、演習
7	英文の構造	1、5	講義、演習
8	ユニットケアについて講義する（準備）	1、2	講義、演習
9	ユニットケアについて講義する（読解）	1	講義、演習
10	ユニットケアについて講義する（原稿作成）	3、4	講義、演習
11	ユニットケアについて講義する（改訂）	5	講義、演習
12	英文の構成	1、5	講義、演習
13	ターミナルケアの観点でQOLについて述べる（読解）	1、2	講義、演習
14	ターミナルケアの観点でQOLについて述べる（原稿作成）	3、4	講義、演習
15	ターミナルケアの観点でQOLについて述べる（改訂）、まとめ	5	講義、演習

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	ネイティブ式英語リーディング入門	米山達郎	研究社	2003・1,575円
参考書				
その他の資料				

【評価方法】 小テスト 口答試験 提出物 出席	【履修上の留意点】 英和辞典は必ず持参すること 配布教材が多いので、ファイルに保管すること
-------------------------------------	---